

# これは知っておきたい カスタムWebの基本

2006/6/10

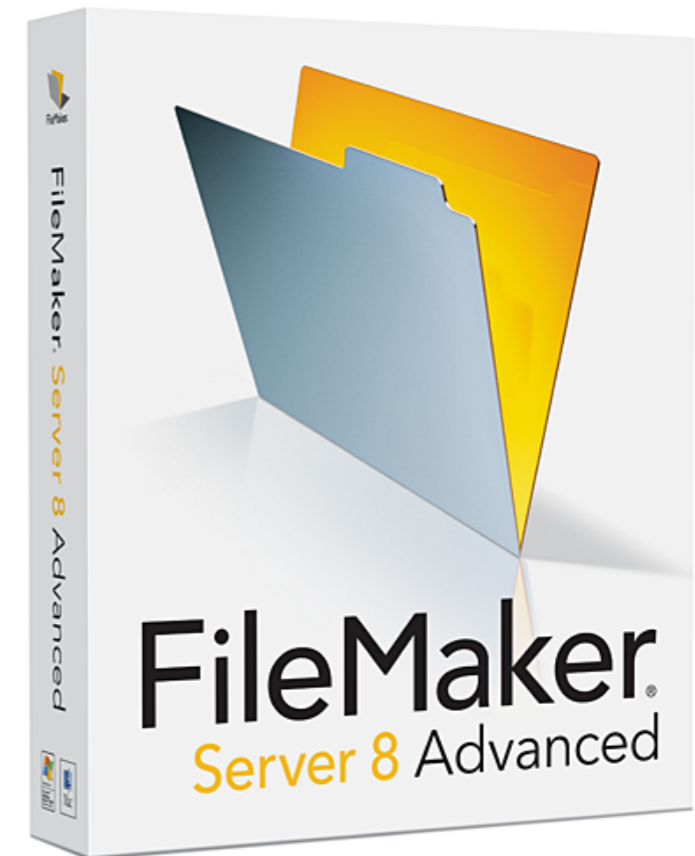
第12回 「FileMaker Fun Night!」 発表資料

松尾篤（株式会社エミック）

# Agenda

## FileMaker Server Advancedについて

- カスタムWeb公開の仕組み
- レイアウトとデータの関係
- セキュリティ面での注意点



# カスタムWeb公開 の仕組み



(1) HTTPリクエストを送信



(2) XMLデータを  
を生成




(4) HTMLを出力



(3) サーバー側で  
XMLデータを  
HTMLに変換

# HTTPリクエストの送信

 <http://www.example.com/fmi/xsl/SAMPLE.xsl?-grammar=fmresultset&-db=DATABASE&-lay=>

- Webブラウザで決まった形式のURLを入力
- (バージョン6以前の)CDMLのアクションタグや変数タグの使用法に類似

# URLのサンプル

- `http://www.example.com/fmi/xsl/SAMPLE.xsl?-grammar=fmresultset&-db=DATABASE&-lay=SEARCH&-lay.response=LIST&-max=10&-find`
- 「？」以降で指定する命令文 = FileMakerクエリー文字列

# FileMakerクエリー文字列

- FileMaker独自のデータベース命令文
- クエリーコマンドを1つ指定してデータベースに対して実行する処理を指定
- クエリーコマンドのオプションとしてクエリー引数を指定

# クエリーコマンドの例

- `-new` (レコードの作成)
- `-find` (レコードの検索)
- `-edit` (レコードの編集)
- `-script` (FileMakerスクリプトの実行)

など

# サーバー側でXMLを HTMLに変換

- FileMaker Server Advancedにおいて標準で用意されている方法→XSLT
- 変換ルールとなるXSLTスタイルシートを作成する



# XSLT

- XMLの関連規格
- XML形式のデータを別の形式に変換して出力

# Webページの出力

- XSLTによる変換処理はなるべくシンプルに
- WebページのレイアウトやデザインはCSSで定義

# カスタムWeb公開 の仕組み

- サーバーにHTTPリクエストを送るとXML形式のデータを取得できる
  - サーバー側でXMLをHTMLに変換
- ➡ XMLデータの構造や中身を把握するとより効率的に開発できる

# レイアウトとデータ の関係

XMLデータの構造や中身は主に以下の3つ  
によって決まる

- FileMakerクエリー文字列
- レイアウト
- アカウントとアクセス権

# レイアウトによって左右 される要素

- フィールドの有無
- ポータルの有無（関連レコード）
- 繰り返しフィールド
- 値一覧が設定されたフィールド etc.

# -lay.response クエリー引数

- 通常は-lay クエリー引数でレイアウトを指定
- -lay.response クエリー引数により、データ処理用のレイアウトとデータ出力用のレイアウトを別々に指定可

# アカウントとアクセス権

アカウントとアクセス権の定義  
アクセス権セットの編集

アクセス権を選択して、1つまたは複数のアカウントで利用できる「アクセス権セット」として保存します。セットを編集すると、そのセットを使用するすべてのアカウントが影響を受けます。

アクセス権セットの名前	説明
Guest	すべてのテーブルでの作成、編集、および削除 すべてのテーブルでの作成および編集
データアクセス権	すべてのテーブルでの表示のみ
レイアウト	すべてのレイアウトでの表示のみ
値一覧	すべて表示のみ
スクリプト	すべてのスクリプトを実行する

他のアクセス権

- 印刷を許可
- エクスポートを許可
- 拡張アクセス権の管理
- ユーザによるデータ入力警告の無視を許可
- アイドル状態の時 FileMaker Server から接続を解除
- ユーザによるパスワードの変更を許可
- 変更を要求する間隔: 30 日

拡張アクセス権

- ODBC/JDBC によるアクセス (fmjdbc)
- FileMaker ネットワークによるアクセス (fmapp)
- FileMaker Mobile によるアクセス (fmgo)
- XML Web 公開によるアクセス - FMSA のみ (fmxml)
- XSLT Web 公開によるアクセス - FMSA のみ (fmxml)

拡張アクセス権を追加、編集、または削除するには、[拡張アクセス権] タブのツールを使用します。

キャンセル OK

- 保護されているフィールドにはアクセスできない

- カスタムアクセス権で細かい設定も可

# レイアウトは セキュリティにあらず

- データの表示をレイアウトのみに依存している場合はデータは保護されていない状態と同じ
- アカウントとアクセス権を適切に設定しましょう



# セキュリティ面での (最低限の) 注意点

- FileMakerが備えるセキュリティ機能を理解する
- 不要な機能は無効にする
- アカウントとアクセス権はきちんと設定する (パスワードを必ず設定)

# 関連書籍

FileMaker Server Advancedの  
カスタムWebテクニック  
XSLTを使用したカスタムWeb公開

に関する唯一の書籍

FileMaker Server カスタムWebテクニック

出版社：ビー・エヌ・エヌ新社

ISBN：4-86100-289-3